

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。  
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

## 安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「注意」として表記してあります。



**注意** 回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

なお、**注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

●お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。



⚠ 気をつけていただく内容です。



⊘ してはいけない内容です。



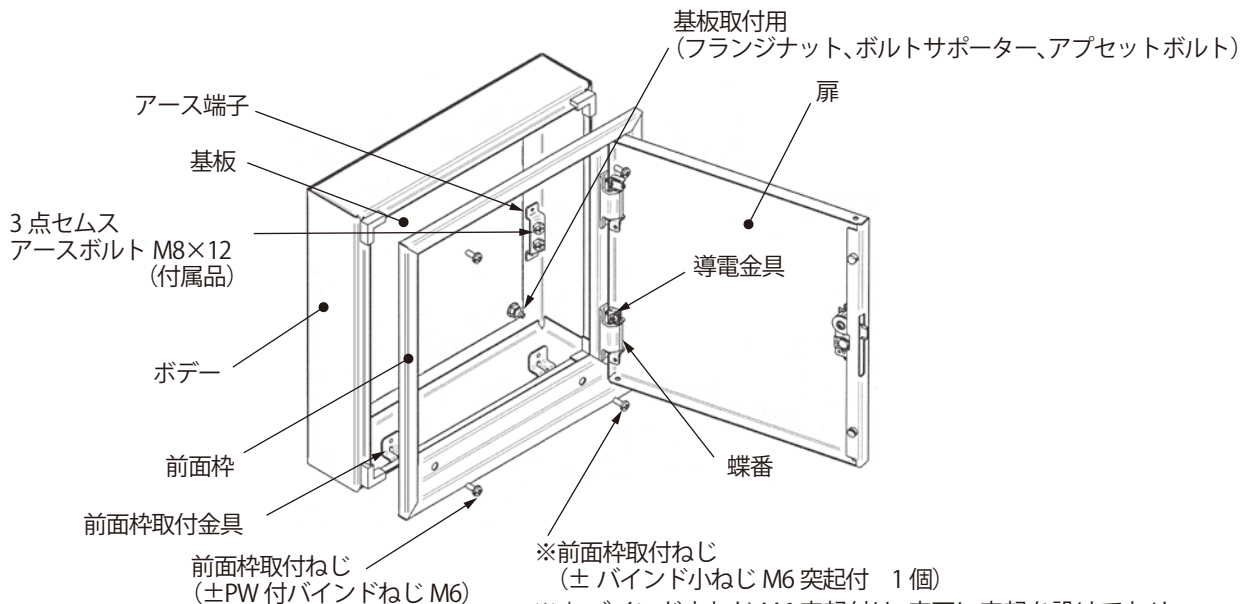
ⓘ 実行しなければならない内容です。

## ■施工上のご注意



### ⚠ 注意

	<p>この製品は屋内用です。屋外には使用できません。</p>	<p>各種取付ねじの締付けは適正締付トルク値を守り、正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、取付ねじがゆるみ、ドアが落下し、機器の故障やけがの原因となります。</p> <table border="1" data-bbox="925 873 1452 1030"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M5</td> <td>1.8 ~ 2.9N・m</td> </tr> <tr> <td>M6</td> <td>2.9 ~ 4.4N・m</td> </tr> <tr> <td>± バインド小ねじ M6 突起付※</td> <td>3.4 ~ 4.4N・m</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ねじを締込むことで塗膜を傷つけて電氣的に接続させるためのねじです。そのため、他の M6 ねじよりトルクの下限值が高くなっています。</p> <p>設置の際に、本体と壁との間にスペーサーを使用する場合は、落下しないように確実に固定してください。確実に固定されていない場合、スペーサーが落下しけがの原因となります。</p>	ねじの呼び	適正締付トルク	M5	1.8 ~ 2.9N・m	M6	2.9 ~ 4.4N・m	± バインド小ねじ M6 突起付※	3.4 ~ 4.4N・m
ねじの呼び	適正締付トルク									
M5	1.8 ~ 2.9N・m									
M6	2.9 ~ 4.4N・m									
± バインド小ねじ M6 突起付※	3.4 ~ 4.4N・m									
	<p>キャビネット扉面を上にして寝かせた状態で、扉を長時間開放しないでください。長時間扉を開放する場合は、支えなどを用いて扉に負荷がかからないようにしてください。作業後は扉を閉めてください。扉の破損・変形の原因になります。</p>									
	<p>穴加工・内部への機器組込みなどを行う際は、設置環境に適した施工措置・機器の選定を行ってください。</p> <p>キャビネットの取付けは十分な強度のある壁面に固定してください。強度が十分でない場合、キャビネットが落下し、機器の故障やけがの原因になります。</p>									

## ■仕様



### ●付属品

部 品 名	数 量
3点セムスアースボルト M8×12 	2コ
N200 番キー 	1コ

注) テナントキャビネット (TB) の付属品は N200 番キーのみです。

## ■設置上のご注意

壁面が平らでない場合、キャビネットがひずみ扉に段差が生じることがあります。その際は、下記の方法で調整してください。

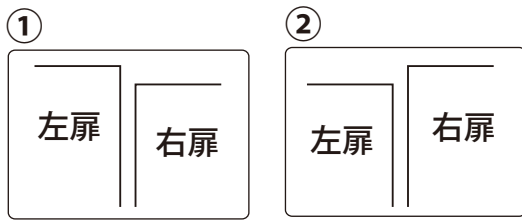


図 1

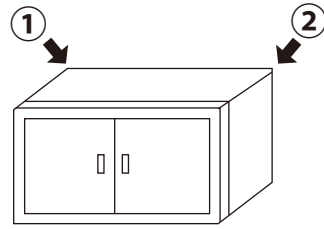


図 2

図 1 の①の段差が生じた時は、図 2 の①↓の本体と壁との間にスペーサーなどを入れ隙間を設けてください。

図 1 の②の段差が生じた時は、図 2 の②↓の本体と壁との間にスペーサーなどを入れ隙間を設けてください。

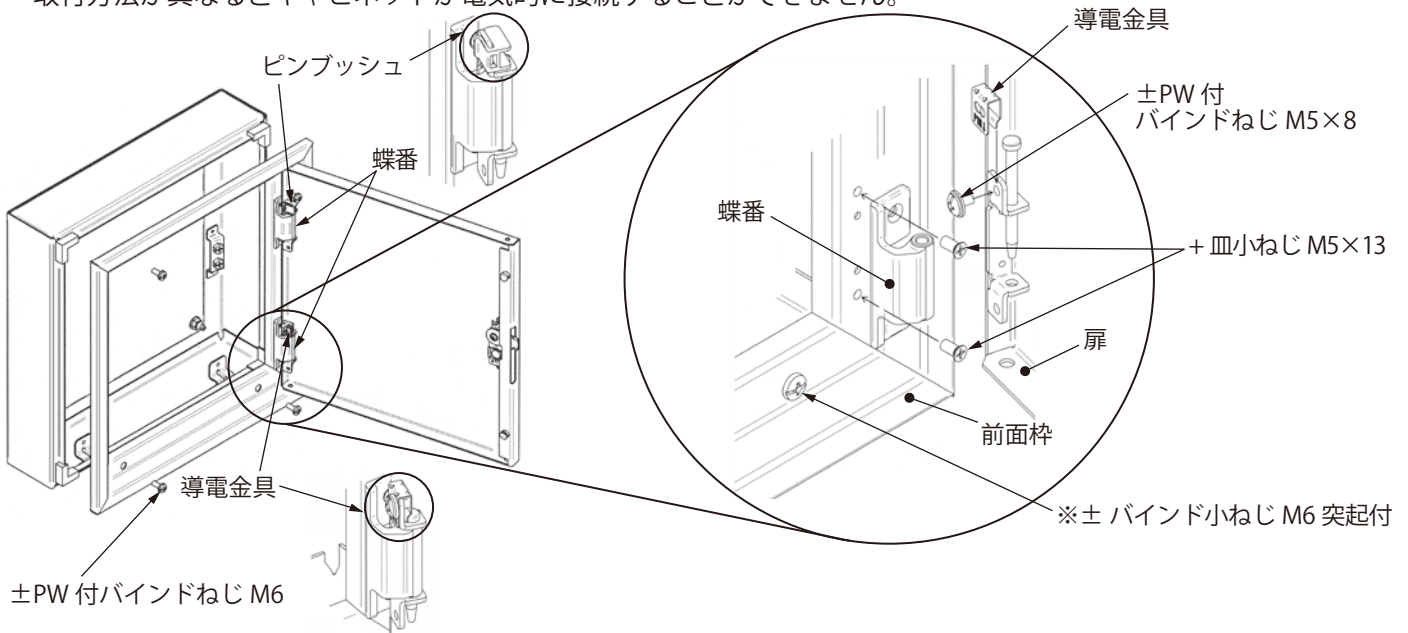
## ■扉の取付方法

色の塗替えなどで扉を外した際には、下記のように蝶番を取付けてください。

(注意)

導電金具の取付方法に注意してください。("PIN ↓"が扉の下側を向くように取付)

取付方法が異なるとキャビネットが電氣的に接続することができません。



## ⚠ 注意



各種取付ねじの締付けは適正締付トルク値を守り、正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、取付ねじがゆるみ、ドアが落下し、機器の故障やけがの原因となります。

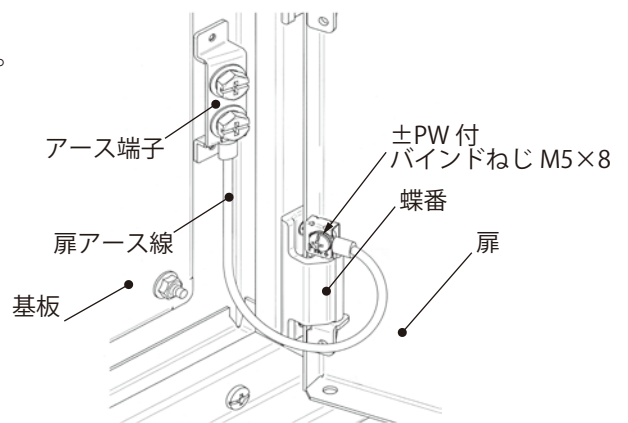
※ねじを締込むことで塗膜を傷つけて電氣的に接続させるためのねじです。そのため、他の M6 ねじよりトルクの下限值が高くなっています。

ねじの呼び	適正締付トルク
M5	1.8 ~ 2.9N・m
M6	2.9 ~ 4.4N・m
土 バインド小ねじ M6 突起付※	3.4 ~ 4.4N・m

## ■扉へのアース線接続

扉とボデーは必要に応じてアース線で接続することができます。土PW付バインドねじ M5×8 は銅または真鍮製のねじに変更してください。

(※アース線および銅または真鍮製の M5×8 ねじはお客様でご用意してください)



仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。  
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。  
この説明書の内容は2012年6月現在のものです。

B787534923  
SK-063D